

10/506352

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2003年9月18日 (18.09.2003)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 03/077195 A1

(51) 国際特許分類⁷:
19/07, 17/00, B42D 15/10, H01Q 1/38

G06K 19/077,

(74) 代理人: 酒井 伸司 (SAKAI,Shinji); 〒381-1225 長野県
長野市 松代町東寺尾3873-1 Nagano (JP).

(21) 国際出願番号:

PCT/JP02/02263

(22) 国際出願日: 2002年3月11日 (11.03.2002)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(71) 出願人 および

(72) 発明者: 吉岡 一栄 (YOSHIOKA,Kazuei) [JP/JP]; 〒
381-0022 長野県 長野市 大豆島本郷前 6197 番地
Nagano (JP).

(81) 指定国 (国内): CA, CN, KR, PH, US.

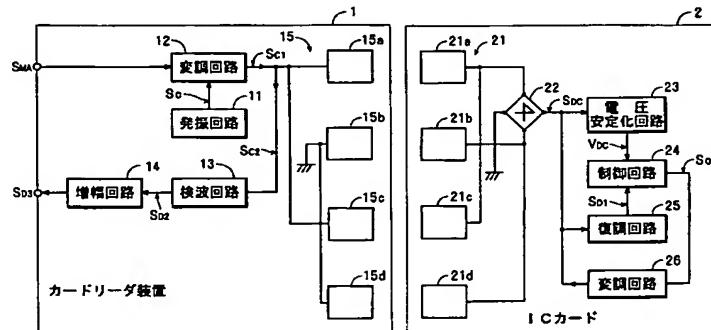
(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (DE, FR, GB, IT).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される
各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語
のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: IC CARD AND CARD READER

(54) 発明の名称: IC カードおよびカードリーダ装置



12...DEMODULATING CIRCUIT
11...OSCILATING CIRCUIT
14...AMPLIFYING CIRCUIT
13...DETECTGION CIRCUIT
1...CARD READER

23...VOLTAGE STABILIZING CIRCUIT
24...CONTROL CIRCUIT
25...DEMODULATING CIRCUIT
26...MODULATING CIRCUIT
2...IC CARD

(57) Abstract: An IC card (2) receives a high-frequency signal (SC1) transmitted from a card reader (1) through an antenna unit (21) provided on an IC card body (CB), rectifies the high-frequency signal (SC1), thereby generates an operating voltage, and demodulates a modulated signal superimposed on the high-frequency signal (SC1) so as to communicate with the card reader (1). The antenna unit (21) is composed of a pair of electrostatic coupling antennas spaced from each other. The paired electrostatic antennas comprise metallic thin films (21a, 21b) provided on the front of the IC card body (CB) separately from each other and metallic thin films (21c, 21d) provided on the back of the IC card body (CB) separately from each other. The metallic thin films (21a, 21c) are opposed to each other and connected to each other, thus forming one of the paired electrostatic coupling antennas. The metallic thin films (21b, 21d) are opposed to each other and connected to each other, thus forming the other electrostatic coupling antenna.

(57) 要約: この発明に係る IC カードは、カードリーダ装置 (1) によって送信される高周波信号 (SC1) を IC カード本体 (CB) に設けられたアンテナ部 (21) を介して受信し、その高周波信号 (SC1) を整流して作動用電圧を生成すると共にその高周波信号 (SC1) に重複されている変調信号を復調してカードリーダ装置との間で相互に通信可能に構成された IC カード (2) であって、アンテナ部 (21) は、互いに分離した一対の静電容量結合型アンテナで構成され、一対の

WO 03/077195 A1

[統葉有]



静電容量結合型アンテナは、ICカード本体(CB)の表面に配設されると共に互いに分離した金属薄膜(21a, 21b)と、ICカード本体(CB)の裏面に配設されると共に互いに分離した金属薄膜(21c, 21d)とを備えて構成され、金属薄膜(21a, 21c)は互いに対向させられると共に互いに接続されて一方の静電容量結合型アンテナを構成し、金属薄膜(21b, 21d)は、互いに対向させられると共に互いに接続されて他方の静電容量結合型アンテナを構成している。

明 系 田 書

I C カードおよびカードリーダ装置

技術分野

この発明は、非接触方式によるアクセスが可能に構成された I C カードおよび
5 カードリーダ装置に関するものである。

背景技術

この種の非接触方式によるアクセスが可能な従来の I C カードおよびカードリーダ装置としては、一般的に、 I C カード内にアンテナ用コイルが内蔵され、かつカードリーダ装置には、カード挿入口に挿入された I C カード内のアンテナ用コイルに近接するようにアンテナ用コイルが配置されている。
10

この従来の I C カードおよびカードリーダ装置では、カードリーダ装置が、そのカード挿入口に I C カードが挿入された際に、 I C カードの挿入を検出し、アクセス信号で搬送波信号を変調して生成した高周波信号をアンテナ用コイルから
15 I C カードに向けて送信する。一方、 I C カード側では、カードリーダ装置のアンテナ用コイルから送信された高周波信号を内蔵のアンテナ用コイルで受信し、その受信した高周波信号を整流してアクセス信号と直流電圧とを生成する。次いで、その直流電圧を作動用電力として作動して、アクセス信号に対するアンサーバックデータをカードリーダ装置に送信する。この結果、カードリーダ装置と I
20 C カードとの間で相互通信が行われる。

発明の開示

発明者は、上述の従来技術を検討した結果、以下のような問題点を発見した。
すなわち、従来の I C カードでは、高周波信号を受信して十分な作動用電力を生成するために、アンテナ用コイルのインダクタンスと共振用コンデンサの容量と
25 から定まる共振周波数を高周波信号の周波数に精度良く一致させる必要がある。

この場合、その共振周波数は、一般的には、アンテナ用コイルの巻数や長さを微調整したり、共振用コンデンサの容量を微調整したりすることによって調整される。しかし、厚みが0.8～0.9mmという薄厚のICカード内にアンテナ用コイルを内蔵させて封止した際には、アンテナ用コイルのインダクタンスが大きく変化する。このため、たとえ、内蔵させた際のインダクタンス変化分を想定してアンテナ用コイルを製造したとしても、ICカードに実際に内蔵させた際には、想定したインダクタンス変化分と実際のインダクタンス変化分とが一致しないことがある。この場合、共振周波数と高周波信号の周波数とが封止した状態で一致しないICカードについては破棄せざるを得ないため、その分の歩止まりが低下する。したがって、従来のICカードには、アンテナ用コイルのインダクタンスを精度良く製造することが困難なことに起因して、そのコストが高騰しているという問題点がある、

本発明は、かかる問題点を解決すべくなされたものであり、コストダウンを図り得るICカード、およびそのICカードとの間でのアクセスが可能なカードリーダ装置を提供することを主目的とする。

この発明に係るICカードは、カードリーダ装置によって送信される高周波信号をICカード本体に設けられたアンテナ部を介して受信し、その高周波信号を整流して作動用電圧を生成すると共にその高周波信号に重畠されている変調信号を復調することによって前記カードリーダ装置との間で相互に通信可能に構成されたICカードであって、前記アンテナ部は、互いに分離した一対の静電容量結合型アンテナで構成され、前記一対の静電容量結合型アンテナは、前記ICカード本体の表面または表面近傍に配設されると共に互いに分離した第1の金属薄膜および第2の金属薄膜と、前記ICカード本体の裏面または裏面近傍に配設されると共に互いに分離した第3の金属薄膜および第4の金属薄膜とを備えて構成され、当該第1の金属薄膜および当該第3の金属薄膜は、互いに対向させられると共に互いに接続されて一方の前記静電容量結合型アンテナを構成し、当該第2の

金属薄膜および当該第4の金属薄膜は、互いに対向させられると共に互いに接続されて他方の前記静電容量結合型アンテナを構成する。

このICカードによれば、互いに分離した一対の静電容量結合型アンテナでアンテナ部を構成したことにより、カードリーダ装置に一対の静電容量結合型アンテナを設けるだけで、カードリーダ装置とICカードとの間で高周波信号を確実かつ容易に送受信することができる。したがって、アンテナ部についての共振周波数調整作業を不要にできる結果、ICカードを極めて簡易かつ安価に製造することができる。また、このICカードによれば、その表面または表面近傍と、その裏面または裏面近傍とに一対の金属薄膜による静電容量結合型アンテナを設けたことにより、ICカードとカードリーダ装置との間での確実な通信を確保しつつ、カードリーダ装置におけるカード挿入口に対して表裏の区別なく、また前後の区別なくICカードを挿入することができる。

また、前記一対の静電容量結合型アンテナを前記ICカード本体の長手方向に沿ってそれぞれ長尺に形成すると共に、当該ICカードの幅方向に沿って並設するものが好ましい。

このICカードによれば、ICカードの長手方向に沿ってアンテナ部を並設する構成と比較して、カードリーダ装置におけるカード挿入口にICカードを挿入する際の位置合わせ精度がそれほど要求されない。このため、カードリーダ装置のカード搬送機構を簡易に構成できると共にICカードとカードリーダ装置との間での確実な通信を確保することができる。

この場合、前記一対の静電容量結合型アンテナ間の負荷インピーダンスを変動させることによって前記高周波信号を振幅変調する変調回路を備えているのが好ましい。

このように、高周波信号を振幅変調する変調回路を備えたことにより、ICカード側からカードリーダ装置に高周波信号を送信する必要がなくなるため、ICカード側に発振回路を設ける必要がなくなる。したがって、ICカードの回路構

成を簡略化できて製品コストの低減を図ることができる。また、回路構成を簡略化できる分だけ消費電力も低減できて、静電容量結合の程度が多少変動した場合であっても、必要とされる作動用電圧を安定して生成することができる。このため、カードリーダ装置との間での相互通信を一層安定させることができる。

5 さらに、前記高周波信号を整流して前記作動用電圧を生成する整流回路を備え、前記変調回路は、前記カードリーダ装置に対するアンサーバックデータに同期して前記整流回路における出力端の負荷インピーダンスを変動させることにより前記一対の静電容量結合型アンテナ間の負荷インピーダンスを変化させるのが好ましい。

10 このように、変調回路が、カードリーダ装置に対するアンサーバックデータに同期して整流回路における出力端の負荷インピーダンスを変動させて一対の静電容量結合型アンテナ間の負荷インピーダンスを変化させることにより、簡単な構成でありながら、カードリーダ装置によって送信される高周波信号を確実に振幅変調することができる。

15 また、前記一対の静電容量結合型アンテナは前記 I C カード本体の前記表面および前記裏面に形成され、鋸止めコーティングが当該表面および裏面に施されているのが好ましい。

20 このように、I C カード本体における静電容量結合型アンテナが形成されている外表面に鋸止めコーティングを施したことにより、雨水が I C カードに付着した場合であっても、静電容量結合型アンテナの腐食を防止することができるため、耐久性を向上させることができる。

この発明に係るカードリーダ装置は、上記 I C カードとの間で通信可能に構成されたカードリーダ装置であって、I C カード挿入口に挿入された前記 I C カードの前記表面または前記裏面のいずれかの面に対向して配置されると共に、当該いずれかの面またはその近傍に配設された前記一対の静電容量結合型アンテナの各々と対向可能に配置された一対の装置側静電容量結合型アンテナを備え、当該

一对の装置側静電容量結合型アンテナと前記 I C カード側の前記一对の静電容量結合型アンテナを介して当該 I C カードに前記高周波信号を送信する。

このカードリーダ装置では、挿入された I C カードの表面または裏面のいずれかの面に対向して配置されると共に、このいずれかの面またはその近傍に配設された一对の静電容量結合型アンテナの各々と対向可能に配置された一对の装置側静電容量結合型アンテナを備えたことにより、簡易な構成でありながら、 I C カードとの間での相互通信の確実性を高めることができる。

また、この発明に係るカードリーダ装置は、上記 I C カードとの間で通信可能に構成されたカードリーダ装置であって、 I C カード挿入口に挿入された前記 I C カードの前記第 1 の金属薄膜および前記第 3 の金属薄膜を挟んで配置された一方の装置側静電容量結合型アンテナと、当該 I C カードの前記第 2 の金属薄膜および前記第 4 の金属薄膜を挟んで配置された他方の装置側静電容量結合型アンテナとを備え、一对の当該装置側静電容量結合型アンテナと前記 I C カード側の前記一对の静電容量結合型アンテナを介して当該 I C カードに前記高周波信号を送信する。

このカードリーダ装置では、挿入された I C カードの第 1 の金属薄膜および第 3 の金属薄膜を挟んで配置された一方の装置側静電容量結合型アンテナと、 I C カードの第 2 の金属薄膜および第 4 の金属薄膜を挟んで配置された他方の装置側静電容量結合型アンテナとを備えたことにより、簡易な構成でありながら、 I C カードとの間での相互通信の確実性を高めることができる。同時に、カードリーダ装置のカード挿入口に I C カードが挿入された際に、 I C カードの各アンテナがカードリーダ装置の対応する各アンテナにそれぞれ対向する構成となって静電容量結合を高めることができる結果、カードリーダ装置から I C カードに対して効率よく電力を供給することができる。

図1は、カードリーダライタ1およびICカード2のブロック図である。

図2は、ICカード2の平面図である。

図3は、ICカード2の各アンテナ21a～21dとカードリーダライタ1側の各アンテナ15a～15dとの位置関係を示す側面図である。

5 図4は、カードリーダライタ1およびICカード2の各部位における信号波形図である。

図5は、ICカード2Aの幅方向に沿った断面図である。

図6は、カードリーダライタ1Aのブロック図である。

10 発明を実施するための最良の形態

以下、添付図面を参照して、本発明に係るICカードおよびカードリーダ装置の好適な実施の形態について説明する。

カードリーダライタ1は、本発明におけるカードリーダ装置に相当し、図1に示すように、ICカード2に対して静電容量結合方式によって高周波信号を送信することにより、電力の供給、およびICカード2内の後述するEEPROMへのアクセスが可能に構成されている。具体的には、カードリーダライタ1は、発振回路11、変調回路12、検波回路13、増幅回路14およびアンテナ部15を備えて構成されている。

この場合、発振回路11は、ICカード2との静電容量結合の結合度を強化すべく、より高い周波数、例えば18MHzの搬送波（搬送波信号）Sc（図4参照）を生成して変調回路12に出力する。変調回路12は、外部に配置されたパソコン用コンピュータ（以下、「パソコン」ともいう）から出力される制御データ（アクセス信号）などの変調信号SMA（図4参照）に同期して搬送波Scを振幅変調する。この場合、変調信号SMAは、そのデューティ比が50%のシリアルデータで構成されている。このため、ICカード2側において十分な電力の生成を可能とするために、変調回路12は、変調信号SMAに同期してパルス幅が例え

ば $15 \mu s$ の変調信号 SMB (図 4 参照) を生成して、その変調信号 SMB で搬送波 S c を振幅変調することによって図 4 に示す高周波信号 SC1 を生成する。検波回路 13 は、IC カード 2 によって搬送波 S c が振幅変調された際の高周波信号 SC 2 (図 4 参照) を整流することにより、アンサーバックデータとしての復調信号 SD2 (図 4 参照) を生成する。增幅回路 14 は、例えば、オペアンプで構成され、復調信号 SD2 を增幅して図 4 に示す復調信号 SD3 をパソコンに出力する。アンテナ部 15 は、非接触方式による静電容量結合型のアンテナ (一方の装置側静電容量結合型アンテナ) 15 a, 15 c と、同じく非接触方式による静電容量結合型のアンテナ (他方の装置側静電容量結合型アンテナ) 15 b, 15 d とを備えて構成され、アンテナ 15 a, 15 c は変調回路 12 の出力端に接続され、アンテナ 15 b, 15 d はグランド電位 (アース電位) に接続されている。なお、変調回路 12 が平衡方式で高周波信号 SC1 を出力する構成の場合には、平衡線路にアンテナ 15 a, 15 c とアンテナ 15 b, 15 d とがそれぞれ接続される。また、このアンテナ 15 a ~ 15 d の構造については後述する。

一方、IC カード 2 は、送受信用のアンテナ部 21、整流回路としてのダイオードスタック 22、電圧安定化回路 23、制御回路 24、復調回路 25 および変調回路 26 を備えて構成されている。この場合、アンテナ部 21 は、図 2, 3 に示すように、IC カード 2 における IC カード本体 C B の表裏両面に形成されている。具体的には、アンテナ部 21 は、例えば、IC カード本体 C B の表裏両面に数十ミクロン (例えば、 $15 \mu m$) 程度の厚みでアルミニウムなどの金属が蒸着されて平板電極状に形成された 4 つの静電容量結合型のアンテナ 21 a ~ 21 d (本発明における第 1 の金属薄膜、第 2 の金属薄膜、第 3 の金属薄膜、第 4 の金属薄膜) で構成されている。この場合、アンテナ 21 a, 21 b は、IC カード本体 C B の長手方向に沿って長尺なほぼ長方形形状にそれぞれ形成され、僅かな間隙を隔てて互いに分離した状態で IC カード本体 C B の表面に IC カード本体 C B の幅方向に沿って並設されている。また、アンテナ 21 c, 21 d は、ア

5 アンテナ 21 a, 21 b と同様にして、ICカード本体CBの長手方向に沿って長
尺なほぼ長方形形状にそれぞれ形成され、僅かな間隙を隔てて互いに分離した状
態で、かつ ICカード本体CBを挟んでアンテナ 21 a, 21 b に対向するよう
に、ICカード本体CBの裏面に ICカード本体CBの幅方向に沿ってそれぞれ
並設されている。また、アンテナ（一方の静電容量結合型アンテナ） 21 a, 2
10 1 c は、ICカード2内部で互いに短絡接続され、アンテナ（他方の静電容量結
合型アンテナ） 21 b, 21 d も、ICカード2内部で互いに短絡接続されてい
る。

一方、上記したカードリーダライタ1側のアンテナ 15 a～15 d は、例えば
15 ICカード2に形成された金属薄膜とほぼ同形状の薄厚金属板（平板電極）で
構成され、図3に示すように、アンテナ 15 a, 15 c が ICカード2を挿入可
能な間隔を空けて互いに対向した状態で平行に配置され、アンテナ 15 b, 15
d も同様にアンテナ 15 a, 15 c と同じ間隔を空けて互いに対向した状態で平
行に配置されている。この場合、アンテナ 15 a とアンテナ 15 b は、同一平面
20 上において隙間を空けて互いに並設された状態となっている。また、アンテナ 1
5 c とアンテナ 15 d も、同一平面上において隙間を空けて互いに並設された状
態となっている。このため、カードリーダライタ1のカード挿入口から ICカー
ド2が挿入されて、ICカード2がアンテナ 15 a, 15 c 間およびアンテナ 1
5 b, 15 d 間に挿入された際には、アンテナ 15 a, 15 c が、挿入状態の IC
25 カード2におけるアンテナ 21 a, 21 c（または 21 b, 21 d）に対してそ
れぞれ面的に対向して、相互間でアンテナ 21 a, 21 c（または 21 b, 2
1 d）を挟んだ状態となる。また、アンテナ 15 b, 15 d も、挿入状態の IC
カード2におけるアンテナ 21 b, 21 d（または 21 a, 21 c）に対してそ
れぞれ面的に対向して、相互間でアンテナ 21 b, 21 d（または 21 a, 21
c）を挟んだ状態となる。したがって、挿入された ICカード2のアンテナ 21
a, 21 c（または 21 b, 21 d）とアンテナ 15 a, 15 c との間の静電容

量結合、およびアンテナ 21 b, 21 d (または 21 a, 21 c) とアンテナ 15 b, 15 d との間の静電容量結合を高めることができる結果、カードリーダライタ 1 から IC カード 2 に対して効率よく電力を供給することができる。この場合、アンテナ 15 a (または 15 b) とアンテナ 21 a (または 21 b) とは、約 100 pF 程度で静電容量結合する。また、IC カード 2 は、アンテナ 21 a ~ 21 d の錆発生を防止すべく、アンテナ 21 a ~ 21 d が形成された表裏両面に例えれば樹脂によるコーティング (図示せず) が施されている。したがって、雨水が IC カード 2 に付着した場合であっても、アンテナ 21 a ~ 21 d の腐食を防止することができるため、耐久性を向上させることができる。なお、樹脂によるコーティングは、アンテナ 15 a (または 15 b) とアンテナ 21 a (または 21 b) とが良好に静電容量結合できるように薄く形成されている。

この IC カード 2 では、その表面にアンテナ 21 a, 21 b が配設され、その裏面にアンテナ 21 c, 21 d が配設されている。このため、カード挿入口に対して表裏の区別なく IC カード 2 を挿入することができ、表裏いずれを上向き状態で挿入したとしても、アンテナ部 21 は、高周波信号 SC1 を確実に受信する。また、アンテナ 21 a ~ 21 d は、それぞれ IC カード本体 CB の長手方向に沿って IC カード本体 CB のほぼ全域に亘って形成されている。このため、カード挿入口に対して前後の区別なく IC カード 2 を挿入することができ、前後いずれから挿入したとしても、アンテナ部 21 は、高周波信号 SC1 を確実に受信する。なお、表裏いずれか一方のみにアンテナ 21 a, 21 b を配設し、カードリーダライタ 1 にも一方のアンテナ 15 a, 15 b のみを配設することもできる。しかし、表裏いずれか一方を上向きにして IC カードをカード挿入口に挿入した際に、IC カードの厚み (0.8 ~ 0.9 mm) 分だけアンテナ部 15 とアンテナ部 21 とが離間する。したがって、アンテナ部 15 およびアンテナ部 21 間の静電容量結合が弱くなるため、IC カード 2 による高周波信号 SC1 の受信レベルが低下する。このため、IC カード 2 側で十分な作動用電力を生成するためには、こ

の I C カード 2 の構成を採用するのが好ましい。

また、 I C カード 2 は、通常、その長手方向に沿ってカード挿入口に挿入され、カードリーダライタ 1 内においてカード搬送機構によってその長手方向に沿つて搬送される。このため、 I C カード 2 の長手方向に沿ってアンテナ 21 a ~ 21 d を並設し、かつカードリーダライタ 1 のカード挿入口に挿入された I C カード 2 におけるアンテナ 21 a, 21 b (または 21 c, 21 d) に対してアンテナ部 15 のアンテナ 15 a ~ 15 d を面的に対向するように配置した場合には、カード挿入口に I C カード 2 を挿入した際に、アンテナ部 15 のアンテナ 15 a, 15 c (または 15 b, 15 d) とアンテナ部 21 の両アンテナ 21 a, 21 b (または 21 c, 21 d) とが重なって短絡状態になるおそれがある。したがって、かかる構成を採用した場合、アンテナ 15 a, 15 c (または 15 b, 15 d) とアンテナ部 21 の両アンテナ 21 a, 21 b (または 21 c, 21 d) との重なり合いを回避するためには、高い位置合わせ精度が必要となる。このため、 I C カード 2 の幅方向に沿ってアンテナ 21 a ~ 21 d を並設するのが好ましい。

ダイオードスタック 22 は、カードリーダライタ 1 によって送信された高周波信号 S C1 を全波整流することによって図 4 に示す直流信号 S DC を生成し、その生成した直流信号 S DC を電圧安定化回路 23 および復調回路 25 に出力する。電圧安定化回路 23 は、直流信号 S DC を安定化して作動用電力としての直流電圧 V DC を制御回路 24 に供給する。制御回路 24 は、実際には、各種処理を実行する C PU と、各種データを記憶してカードリーダライタ 1 によってその記憶データの読み出しや書換えが行われる E E P R O M (Electrically Erasable PROM) と、 C PU の動作用プログラムを記憶する R O M と、各種データを一時的に記憶する R A M とを備えて構成されている。復調回路 25 は、直流信号 S DC を復調して復調信号 S D1 として制御回路 24 に出力する。この場合、復調信号 S D1 は、変調信号 S M B とほぼ同一波形となる。なお、復調回路 25 を設けずに、直流信号 S DC を復

調信号 SD1 として制御回路 24 に出力する構成を採用することもできる。変調回路 26 は、制御回路 24 から出力されるアンサーバックデータとしての出力信号 S0 (図 4 参照) に同期してダイオードスタック 22 の出力端を短絡することにより、アンテナ 21a, 21c とアンテナ 21b, 21d との間の負荷インピーダンスを変動させて、カードリーダライタ 1 のアンテナ 15a における搬送波 Sc (つまり、無変調の高周波信号 SC1) を振幅変調する。このように、搬送波 Sc を振幅変調する変調回路 26 を備えたことにより、IC カード 2 側からカードリーダライタ 1 に搬送波 Sc を送信する必要がなくなるため、IC カード 2 側に発振回路を設ける必要がなくなる。したがって、IC カード 2 の回路構成を簡略化できて製品コストの低減を図ることができる。また、回路構成を簡略化できる分だけ消費電力も低減でき、静電容量結合の程度が多少変動した場合であっても、IC カード 2 に必要とされる作動用電圧を安定して生成することができる。このため、カードリーダライタ 1 との間での相互通信を一層安定させることができる。

次に、カードリーダライタ 1 における IC カード 2 に対する通信処理について、図 4 を参照して説明する。

IC カード 2 からのアクセス待ち受け時には、カードリーダライタ 1 では、変調回路 12 が、例えば無変調の高周波信号 SC1 をアンテナ 15a に対して間欠出力し、同時に、アンテナ部 15 が、その高周波信号 SC1 を間欠送信する。次いで、カード挿入口に IC カード 2 が挿入された際に、例えば図 3 に示すように、アンテナ 15a とアンテナ 21a、アンテナ 15b とアンテナ 21b、アンテナ 15c とアンテナ 21c、アンテナ 15d とアンテナ 21d がそれぞれ対向し、これにより、アンテナ部 21 が高周波信号 SC1 を受信する。この際に、IC カード 2 では、電圧安定化回路 23 が、ダイオードスタック 22 によって生成された直流信号 SDC を安定化した直流電圧 VDC を制御回路 24 に出力する。

続いて、制御回路 24 は、IC カード 2 が挿入されたことをカードリーダライ

タ 1 に通知する挿入確認データを図 4 に示す出力信号 S0 として変調回路 2 6 に
出力する。次いで、変調回路 2 6 が、出力信号 S0 に同期してダイオードスタッ
ク 2 2 の出力端を短絡させる。つまり、ダイオードスタック 2 2 の負荷インピー
ダンスを変動させる。この結果、アンテナ部 2 1 の負荷インピーダンスが変動し
5 て、アンテナ部 1 5 を介して変調回路 1 2 の出力端のインピーダンスが変動する
ため、その出力端における高周波信号 S C2 は、図 4 に示す電圧波形のように、出
力信号 S0 に同期して振幅変調される。この後、検波回路 1 3 が、高周波信号 S C
2 を検波することにより、図 4 に示す復調信号 S D2 を生成して増幅回路 1 4 に出力
する。次いで、増幅回路 1 4 は、復調信号 S D2 を所定の利得で増幅した復調信号
10 S D3 (同図参照) をパソコンに出力する。

一方、I C カード 2 の挿入を検知したパソコンは、I C カード 2 に対するアク
セスデータを図 4 に示す変調信号 S MA としてカードリーダライタ 1 に出力する。
この際には、変調回路 1 2 が、変調信号 S MA に同期して同図に示す変調信号 S MB
を生成し、発振回路 1 1 から出力される搬送波 S c (同図参照) を変調信号 S MB
15 で変調して同図に示す高周波信号 S C1 を生成してアンテナ部 1 5 に出力する。こ
れにより、高周波信号 S C1 は、互いに静電容量結合されているアンテナ部 1 5,
2 1 を介して I C カード 2 に送信される。

I C カード 2 では、ダイオードスタック 2 2 が高周波信号 S C1 を全波整流する
ことにより図 4 に示す直流信号 S DC を生成して電圧安定化回路 2 3 および復調回
路 2 5 に出力する。次いで、復調回路 2 5 が直流信号 S DC を復調信号 S D1 に復調
20 して制御回路 2 4 に出力する。これにより、制御回路 2 4 内の C P U は、アクセ
スデータの内容に応じて、E E P R O M に記録されている残高情報などの書替え
や、顧客情報や残高情報などのカードリーダライタ 1 に対する転送を実行する。
また、C P U は、必要に応じて、残高情報などを書き替えるための書替情報を R
25 A M に一時的に記憶させる。

一方、顧客情報などを転送する際には、制御回路 2 4 内の C P U は、顧客情報

などの転送データを図4に示す出力信号S0として変調回路26に出力する。この際には、変調回路26は、上記した動作と同様にして、出力信号S0に同期してダイオードスタック22の出力端を短絡させる。この結果、アンテナ部21, 15を介して変調回路12の出力端のインピーダンスが変動するため、その出力端における高周波信号SC2は、図4に示す電圧波形のように、出力信号S0に同期して振幅変調される。次いで、検波回路13が、高周波信号SC2を検波することにより図4に示す復調信号SD2に復調する。この後、増幅回路14が、復調信号SD2を増幅してパソコンに出力する。以上により、ICカード2内の顧客情報や残高情報などがパソコンに転送される。

このように、このカードリーダライタ1およびICカード2によれば、静電容量結合によって高周波信号を互いに送受信可能なアンテナ部15, 21を用いたことにより、従来方式のアンテナ用コイルを用いる方式と比較して、アンテナ部についての共振周波数調整作業を不要にできるため、ICカード2を極めて簡易かつ安価に製造することができる。

なお、本発明の実施の形態では、アンテナ部21をICカード2の表面および裏面（つまり、外表面）に配設した例について説明したが、図5に示すように、ICカード2AにおけるICカード本体CBの内側にアンテナ部21を配設して、錆止めコーティングを不要にすることもできる。ただし、この構成では、アンテナ21a, 21bをICカード本体CBの表面近傍に配設すると共に、アンテナ21c, 21dをICカード本体CBの裏面近傍に配設することが好ましい。これにより、これらのアンテナ21a～21dをカードリーダライタ1のアンテナ部15により近接させることができて、カードリーダライタ1のアンテナ部15との良好な静電容量結合を確保することができる。

また、図6に示すカードリーダ装置1Aのように、カードリーダ装置1A側に、ICカード2（2A）側の一対のアンテナ21a, 21bおよびアンテナ21c, 21dのいずれか一方に対向可能に一対のアンテナ15a, 15bのみを配

設する構成を採用することもできる。なお、カードリーダライタ1と同一の構成要素については同一の符号を付し、重複する説明は省略する。

さらに、カードリーダライタ1(1A)およびICカード2(2A)間で通信する際の変調方式として振幅変調を用いた例について説明したが、この変調方式5自身は限定されず、位相変調など各種変調方式を採用することができる。さらに、カードリーダライタ1(1A)およびICカード2(2A)の各回路の構成も本発明の実施の形態で示した構成に限らず、適宜変更が可能であるのは勿論である。

10 産業上の利用可能性

以上のように、この発明に係るICカードによれば、カードリーダ装置によって送信される高周波信号をICカード本体に設けられたアンテナ部を介して受信し、その高周波信号を整流して作動用電圧を生成すると共にその高周波信号に重畠されている変調信号を復調することによってカードリーダ装置との間で相互に15通信可能に構成されたICカードであって、そのアンテナ部を静電容量結合型アンテナで構成すると共に、静電容量結合型アンテナを構成する金属薄膜をその表面および裏面に設けたことにより、ICカードとカードリーダ装置との間での確実な通信を確保しつつ、カードリーダ装置におけるカード挿入口に対して表裏の区別なく、また前後の区別なく挿入できるICカードが実現される。

20 また、この本発明に係るカードリーダ装置によれば、上記ICカードにおける一対の静電容量結合型アンテナにそれぞれ対向可能に配置された一対の装置側静電容量結合型アンテナを備え、装置側静電容量結合型アンテナとICカード側の一対の静電容量結合型アンテナを介してICカードに高周波信号を送信することにより、簡易な構成でありながら、ICカードとの間での相互通信の確実性を高25めることができるカードリーダ装置が実現される。

請求の範囲

1. カードリーダ装置によって送信される高周波信号を I C カード本体に設けられたアンテナ部を介して受信し、その高周波信号を整流して作動用電圧を生成すると共にその高周波信号に重畠されている変調信号を復調することによって前記カードリーダ装置との間で相互に通信可能に構成された I C カードであって

5 前記アンテナ部は、互いに分離した一対の静電容量結合型アンテナで構成され

前記一対の静電容量結合型アンテナは、前記 I C カード本体の表面または表面近傍に配設されると共に互いに分離した第 1 の金属薄膜および第 2 の金属薄膜と、前記 I C カード本体の裏面または裏面近傍に配設されると共に互いに分離した第 10 3 の金属薄膜および第 4 の金属薄膜とを備えて構成され、当該第 1 の金属薄膜および当該第 3 の金属薄膜は、互いに対向させられると共に互いに接続されて一方の前記静電容量結合型アンテナを構成し、当該第 2 の金属薄膜および当該第 4 の金属薄膜は、互いに対向させられると共に互いに接続されて他方の前記静電容量結合型アンテナを構成する I C カード。

15 2. 前記一対の静電容量結合型アンテナは、前記 I C カード本体の長手方向に沿ってそれぞれ長尺に形成されると共に、当該 I C カードの幅方向に沿って並設されている請求項 1 記載の I C カード。

20 3. 前記一対の静電容量結合型アンテナ間の負荷インピーダンスを変動させることによって前記高周波信号を振幅変調する変調回路を備えている請求項 1 記載の I C カード。

4. 前記一対の静電容量結合型アンテナ間の負荷インピーダンスを変動させることによって前記高周波信号を振幅変調する変調回路を備えている請求項 2 記載の I C カード。

25 5. 前記高周波信号を整流して前記作動用電圧を生成する整流回路を備え、

前記変調回路は、前記カードリーダ装置に対するアンサーバックデータに同期して前記整流回路における出力端の負荷インピーダンスを変動させることにより前記一対の静電容量結合型アンテナ間の負荷インピーダンスを変化させる請求項3記載のICカード。

5 6. 前記高周波信号を整流して前記作動用電圧を生成する整流回路を備え、前記変調回路は、前記カードリーダ装置に対するアンサーバックデータに同期して前記整流回路における出力端の負荷インピーダンスを変動させることにより前記一対の静電容量結合型アンテナ間の負荷インピーダンスを変化させる請求項4記載のICカード。

10 7. 前記一対の静電容量結合型アンテナは前記ICカード本体の前記表面および前記裏面に形成され、鍍止めコーティングが当該表面および裏面に施されている請求項1記載のICカード。

15 8. 請求項1から7のいずれかに記載のICカードとの間で通信可能に構成されたカードリーダ装置であって、ICカード挿入口に挿入された前記ICカードの前記表面または前記裏面のいずれかの面に対向して配置されると共に、当該いずれかの面またはその近傍に配設された前記一対の静電容量結合型アンテナの各々と対向可能に配置された一対の装置側静電容量結合型アンテナを備え、当該一対の装置側静電容量結合型アンテナと前記ICカード側の前記一対の静電容量結合型アンテナを介して当該ICカードに前記高周波信号を送信するカードリーダ装置。

20 9. 請求項1から7のいずれかに記載のICカードとの間で通信可能に構成されたカードリーダ装置であって、ICカード挿入口に挿入された前記ICカードの前記第1の金属薄膜および前記第3の金属薄膜を挟んで配置された一方の装置側静電容量結合型アンテナと、当該ICカードの前記第2の金属薄膜および前記第4の金属薄膜を挟んで配置された他方の装置側静電容量結合型アンテナとを備え、一対の当該装置側静電容量結合型アンテナと前記ICカード側の前記一対

の静電容量結合型アンテナを介して当該 I C カードに前記高周波信号を送信する
カードリーダ装置。

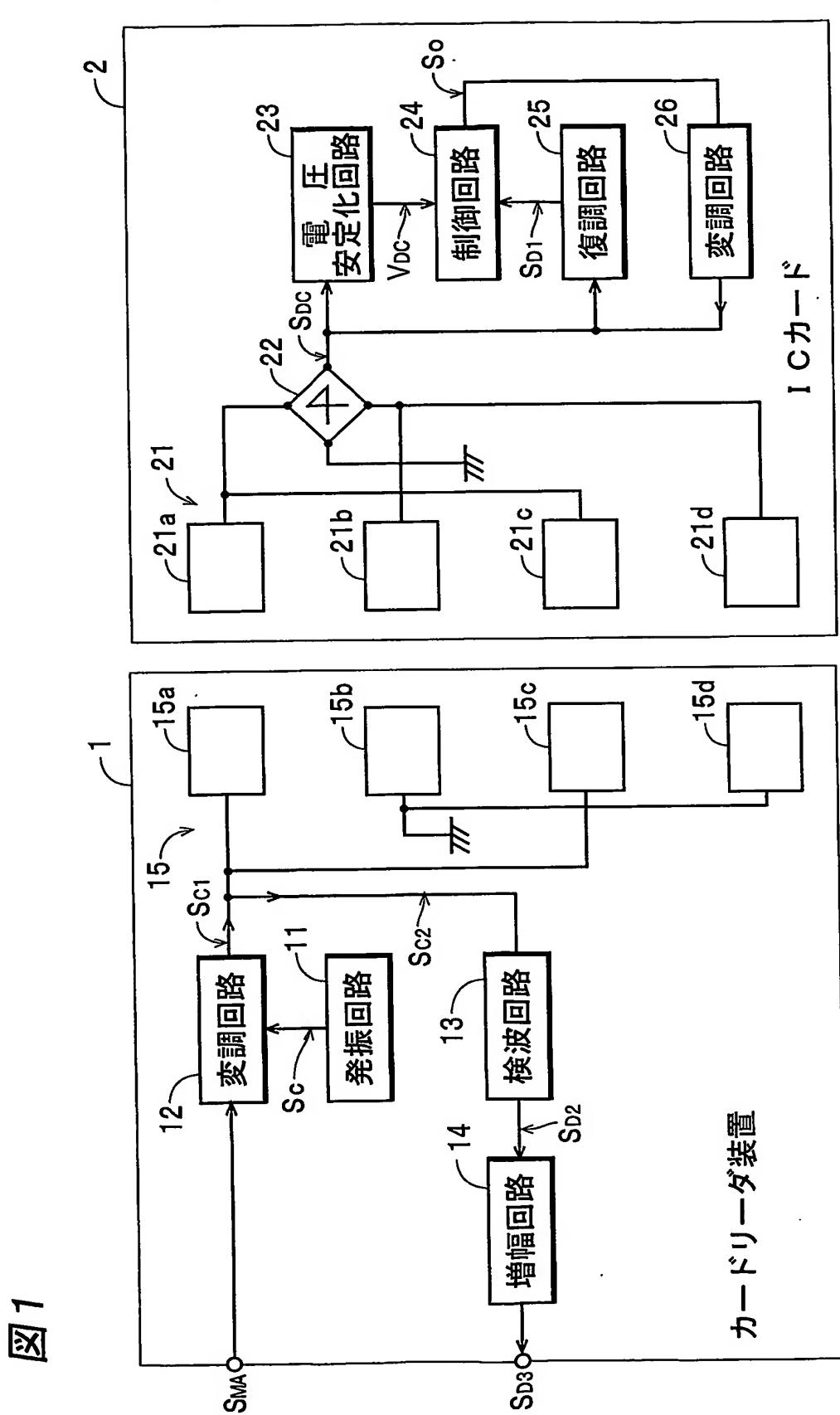


図2

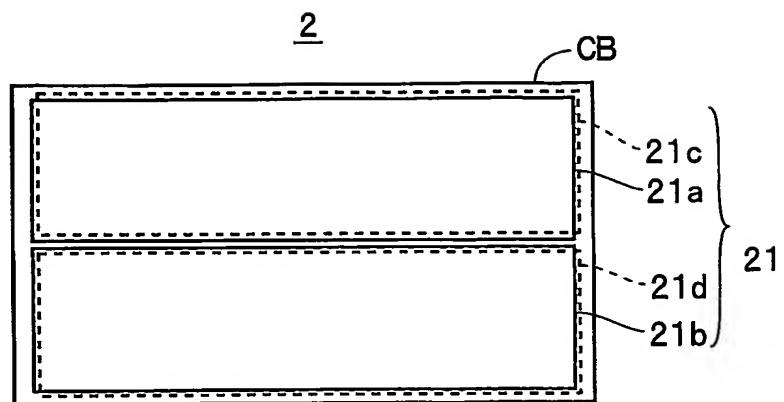


図3

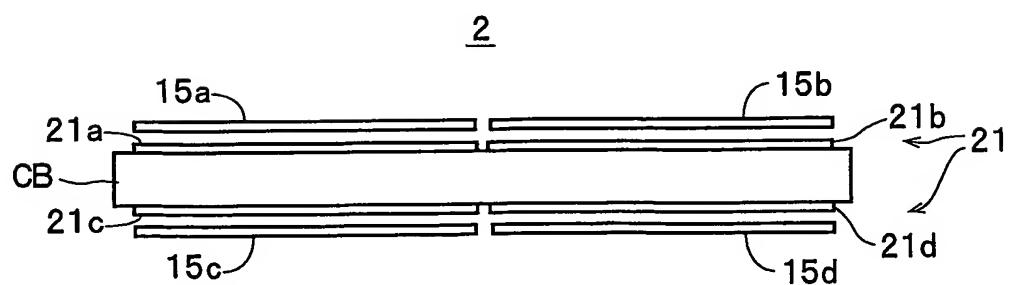


図4

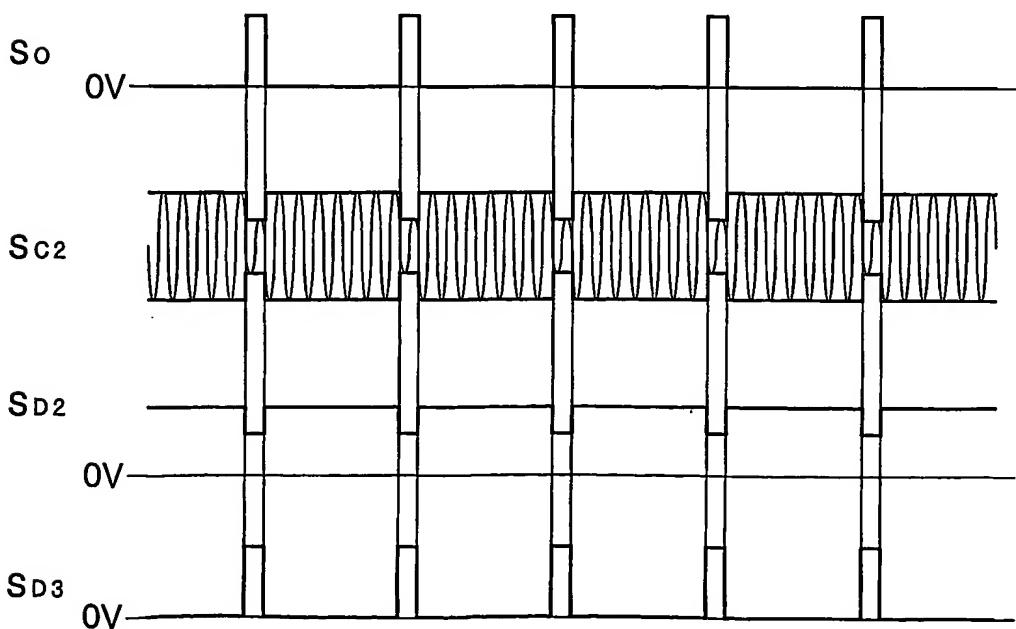
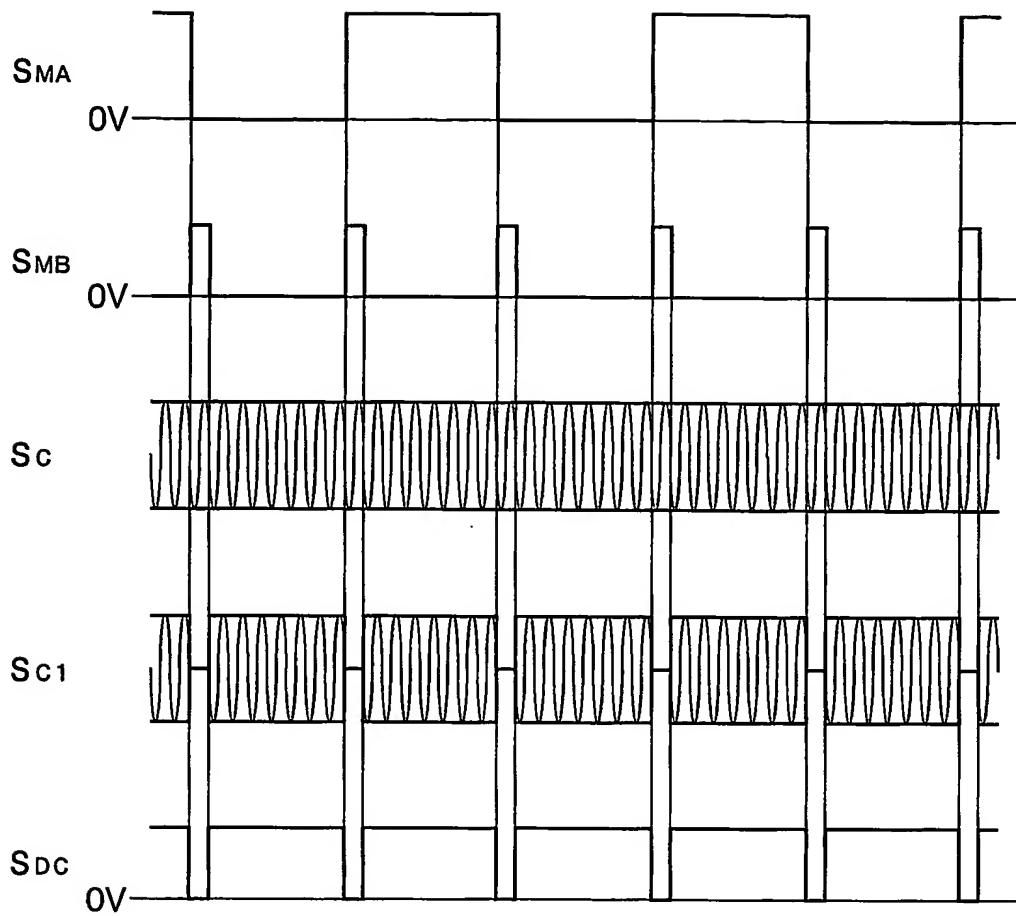


図5

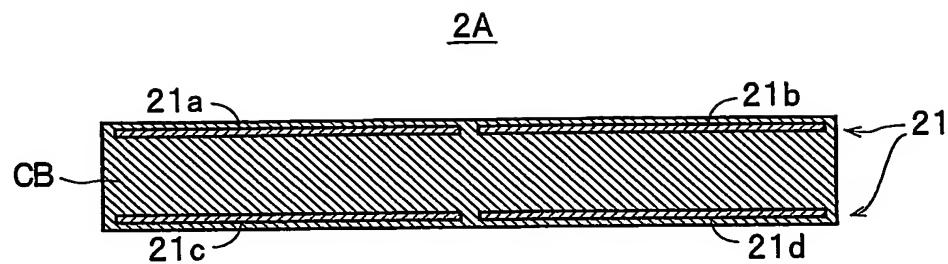
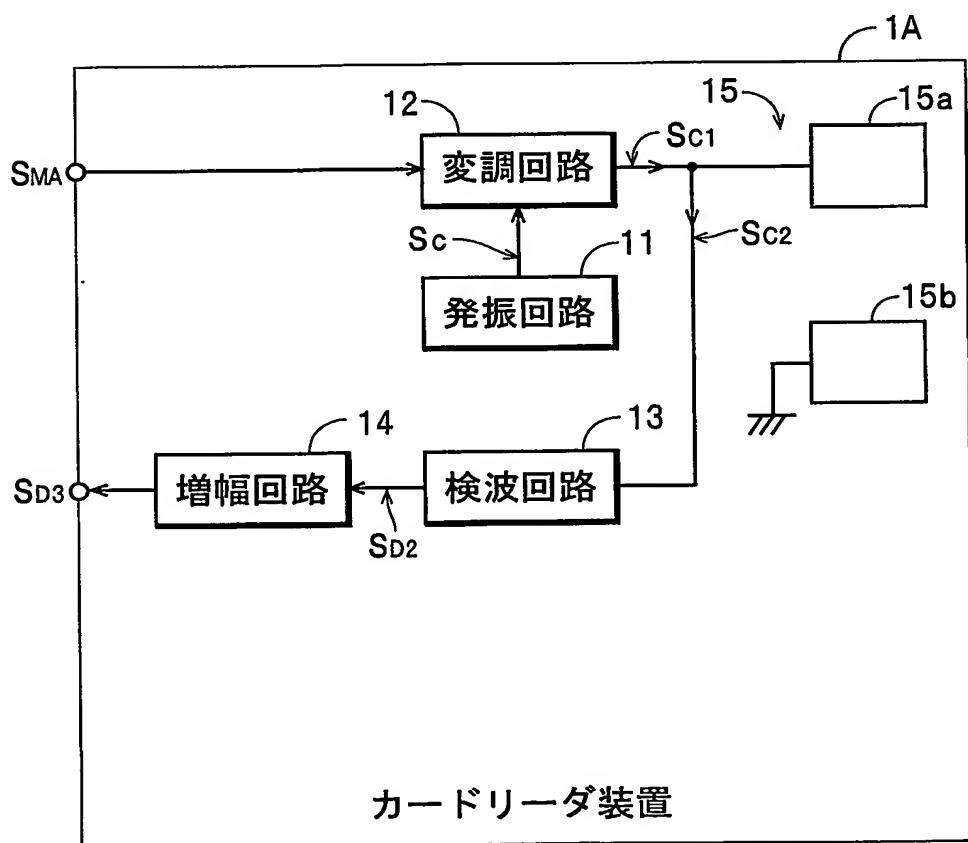


図6



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

JP02/02263

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G06K19/077, G06K19/07, G06K17/00, B42D15/10, H01Q1/38

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G06K17/00, 19/00-19/18, B42D15/10, H01Q1/38

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2002
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2002	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2002

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 06-150079 A (PFU Ltd.), 31 May, 1994 (31.05.94), Full text; all drawings (Family: none)	1-9
A	JP 06-187514 A (PFU Ltd.), 08 July, 1994 (08.07.94), Figs. 2, 5 (Family: none)	1-9

 Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"B" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
29 May, 2002 (29.05.02)Date of mailing of the international search report
11 June, 2002 (11.06.02)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
 Int C1' G06K19/077, G06K19/07, G06K17/00,
 B42D15/10, H01Q1/38

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))
 Int C1' G06K17/00, 19/00-19/18
 B42D15/10, H01Q1/38

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案広報 1922-1996年
 日本国公開実用新案広報 1971-2002年
 日本国登録実用新案広報 1994-2002年
 日本国実用新案登録広報 1996-2002年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリ*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 06-150079 A (株式会社ピーエフユー) 1994.05.31, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-9
A	JP 06-187514 A (株式会社ピーエフユー) 1994.07.08, 図2, 図5 (ファミリーなし)	1-9

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリ

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日 29. 05. 02	国際調査報告の発送日 11.06.02
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 奥村 元宏 電話番号 03-3581-1101 内線 3545